

1人1台端末の活用による実践事例 （小・中学校用）

学校名	倉敷市立粒江小学校	実践者名	山本一輝
教科	国語	学年	第5学年
活用内容	①本の紹介文 ②資料を用いた意見文 ③伝記の紹介文	授業活用段階 （岡山県版）	Stage 2
単元・内容等	①作家から広げるわたしたちの読書 ②グラフや表を用いて書こう ③やなせたかしーアンパンマンの勇気		

活用の概要（目的・活用場面・使用アプリ名を含む）

（１）作家から広げるわたしたちの読書

【使用アプリ名】ロイロノート

【目的】

作者から本を選び、あらすじやおすすめのポイントなどをまとめて、クラスの友達に紹介する。

【活用場面】

本の写真を撮って載せたり、あらすじやおすすめのポイントなどを打ち込んだりして本の紹介文を書く。



（２）グラフや表を用いて書こう

【使用アプリ名】ロイロノート

【目的】

社会は暮らしやすい方向に向かっているかどうかについて、グラフや表を用いて自分の意見をクラスの友達に伝える。

【活用場面】

社会は暮らしやすい方向に向かっているかどうかについて、自分の意見にあったグラフや表を本で調べて写真を撮ったり、インターネットで調べたりして、グラフや表を用いた意見文を書く。



（３）やなせたかしーアンパンマンの勇気

【使用アプリ名】ロイロノート

【目的】

自分の関心のある偉人の伝記を読み、その人物をクラスの友達に紹介する。

【活用場面】

偉人の伝記の写真を撮って載せたり、その人物の紹介文などを打ち込んだりして伝記の紹介文を書く。



実践者の手ごたえ	児童生徒・保護者等の主な反応や声
原稿用紙やワークシートに書くより修正しやすいので、児童がより分かりやすい文章や伝わりやすい文章にしようと試行錯誤する姿がよくみられた。	（児童の様子から） どの児童も文章を入力することに熱中したり、添付する写真や資料を真剣に選んだりしていた。ロイロ・ノートを活用することで、文章を書いたり、自分の意見を表現することに対するハードルが下がった。